カメラリポート

7/26 北海道剣淵小学校との交流

友好都市提携の交流事業の一環で、剣淵小学校の5・6年生25名がさぬき市内小学校の同学年25名と交流をしました。

児童たちは、津田公民館で竹細工体験をした後、津田町のドルフィンセンターを訪れ、イルカとのふれあいや海水浴を体験しました。剣淵町は、北海道の内陸部に位置することから、瀬戸内海での体験は新鮮です。児童たちは、学校や年齢の垣根を越えて楽しんでいました。

8/26 木下大サーカス福祉施設に招待券贈呈

10月6日から開幕する「木下大サーカス高松公演」を前に、木下サーカスの木下嘉子副社長と主催する四国新聞社の宮脇茂樹事業室長らが大山市長を訪ね、福祉施設への招待券を500枚贈呈しました。

木下副社長は、「サーカスは、子どもから大人まで楽しめるもので、多くの人に来ていただき、非日常と夢のような時間を過ごしてほしいです」と話しました。

左から、木下嘉子副社長、宮脇茂樹事業室長、大山市長

8/31 辛立文化センターで19回目の夏のつどい

地域住民の福祉の向上と人権・同和問題への意識啓発活動の一環で、夏のつどいが行われました。会場には、ユニバーサルデザイン（障害、性別など関係なく、すべての人が情報を得られやすいデザインのこと）についての展示が行われた他、バザーやうどんが提供されました。モンキーパフォーマンスショーでは、ニホンザルのなると君が華麗な技を決めると、会場内から盛大な拍手が送られていました。

9/6 ファーマーズフォーラム2019開催

寒川庁舎で行われたこの会では、市内の農業委員や農地利用最適化推進委員、石田高校の生徒など約120名が参加しました。『若者目線で農業再発見』のテーマのもと、株式会社さぬきベジファーム代表取締役の藤澤明さんが自社活動の講演を行ったり、農業の働きがいやその魅力について意見交換をしたりするなど、参加者は互いに農業・農村をとりまく環境や、その課題についても考えを深めることができました。

男女共同参画社会　川柳・俳句作品　「それぞれで　違っていいよ　生きる道」　阿佐大輝さん